

# 給食たより

〈 テーマ : 幼児の食器・食具の特徴を知ろう! 〉

R2年度 第3号

下鳥羽こども園 601-3963

園では、和食の基本である「1汁2菜」を基本とした給食で、  
幼児組ではそれぞれの用途で使いやすい食器を使用し、年齢に合わせた食具を使用しています。

今回の給食たよりは幼児組についてのお話をしたいと思います。

4月からは3歳児でスプーンを導入し、  
6月からは4、5歳児でもスプーン・フォークを導入しました。



## 6月より、4、5歳児もスプーン・フォークを導入!



家庭から持参されるスプーンは、形が様々で、正しい持ち方を指導・援助するのに困難がありました。

- ・ 6月からは4.5歳児ではおやつ時に使用し、また、家庭から持参しているものは、給食時に使用します。
- ・ フォークは3歳児の給食時に必要なときにも使用します。

➡ 新型コロナの影響で、給食、おやつ時に洗って使うのは、衛生的な問題があったので、改善します。

白皿  
(主菜)



小皿  
(副菜)

少し立ち上がりがあるので、ちょっとの汁気のあるものでもこぼれない

少量の野菜でも食べきれる大きさ

持ちやすい  
安定する  
大きさ



茶碗

汁碗

両手でつつむように持てる大きさ

## 〈 理想のお箸の長さ 〉

3歳児の年明けごろから、各ご家庭でお箸の用意してもらっています。

子どものお箸の長さは、持ち方にも影響があります。お箸の持ち方は子どもにとって一生の財産です。きちんとした持ち方をしてもらうためにも、理想のお箸の長さを選ぶ必要があります。まずは写真のように長さを測り、下記の計算式にあてはめてみてください。ぜひ、今後の参考にしてみてくださいね。

$$\text{子どものお箸の長さ} = \text{測った長さ} \times 1.5$$

